

県ヶ丘高100周年に向けて



記念事業実行委員会を発足

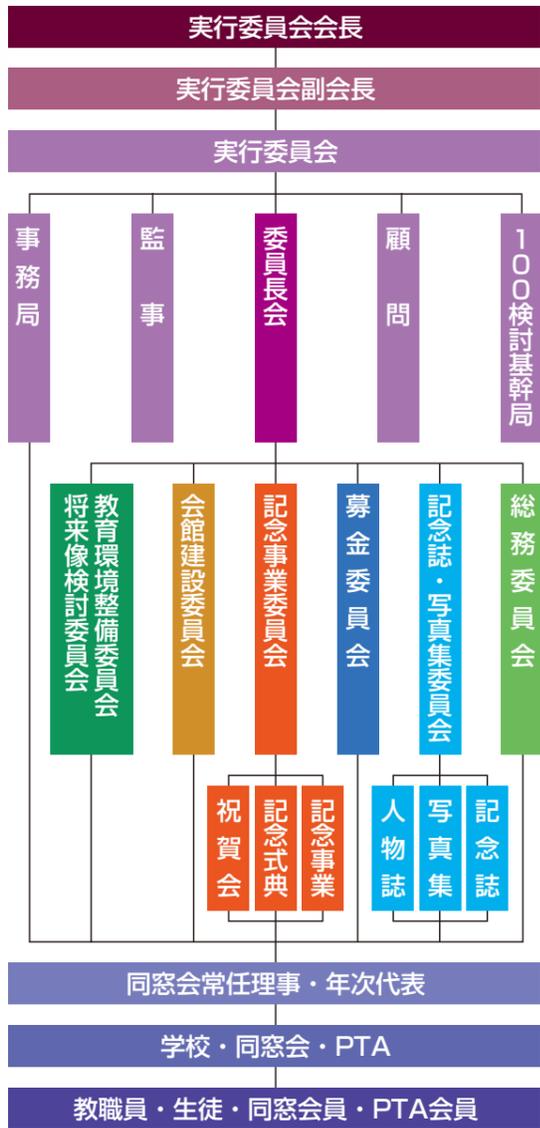
同窓会事務局長
高11回 常盤 欣司



母校は、大正12年に開校、来たる2023年に創立100周年を迎えることになりました。平成27年10月から20回にわたる検討委員会において、協議して参り、100年の節目を祝い、母校の更なる発展を期するため、昨年10月13日「100周年記念事業実行委員会」を立ち上げました。

21世紀における母校の一層の隆盛を期して、全員の参加のもと、

一、母校への支援
二、地域社会への謝恩
三、同窓会の充実発展



の3本柱を基本理念に掲げて、6委員会(右図参照)にて組織し、多彩な記念事業を決めています。

当日は、同窓会員220人に委嘱状を交付し、同窓会長の望月雄内会長が、実行委員会の会長となりました。

検討委員会で協議された事項は、同窓会館の建設、記念誌・写真集・人物誌の編纂、母校の教育環境整備基金の造成、奨学金の充実などが挙がっています。

今回は、同窓会だけの発足で

ですが、具体的事業が整い次第、学校・PTAを交えての実行委員会を組織いたします。

細部にわたる事業はこれからですが、これらの事業を達成するためには、多額の資金が必要となります。この趣旨にご理解ご賛同いただき、一層のご協力をお願い申し上げます。

なお、記念式典は、須坂高・屋代高・篠ノ井高・豊科高も同時期に100周年を迎えるため、日程調整をして、本校は、2023年9月30日(土)を予定しております。



探求学習とは自ら課題を設定し、情報の収集や分析に基づき自分なりの解決策を提案する学習活動です。

探求学習に対する興味を引き出すため、4月27日に同窓生17名による進路講座を行いました。様々な分野の同窓生に来ていた

探求学習の取り組みについて 県ヶ丘高校探学科主任 卯之原 智也



探求学習を進めていく上で、ICT環境の整備や外部との連携が欠かせません。それに当たり、同窓会よりふるさと納税によるWiFi環境の整備や進路講座の講師派遣など、多大なる援助やご協力をいただきました。本年2月には研究発表会を行う予定です。是非多くの同窓生の方にもお越しいただき、生徒の学習成果をご覧いただければと思います。

今後引き続きご支援よろしくお願いいたします。

探求学習を進めていく上で、ICT環境の整備や外部との連携が欠かせません。それに当たり、同窓会よりふるさと納税によるWiFi環境の整備や進路講座の講師派遣など、多大なる援助やご協力をいただきました。本年2月には研究発表会を行う予定です。是非多くの同窓生の方にもお越しいただき、生徒の学習成果をご覧いただければと思います。

今後引き続きご支援よろしくお願いいたします。



世界で活躍できるリーダーを目指して

「探究科」 発足1年



SDGsに関連づけて行っています。それに関連して11月に行った東京研修ではそれぞれ興味がある分野に分かれて、SDGsに関した取り組みを行っている企業を訪問しました。実際の取り組み状況を見たり聞いたりすることで、研究テーマを決める参考にしました。3月には研究発表会を行い、自分が取り組んできた研究テーマに関する報告と提案を行いました。様々な質問や発表に対する評価を受けることでこれまでの研究を振り返り、次年度の学習の更なるステップアップにつなげました。

また探学科は3月に海外研修を行い、現地高校生とのディスカッションや探究活動を行い、更に研究を深めています。

「縣陵の学びを支援する会」 活動報告 昨年4月27日に開催された 1年生向けの進路講座に 協力しました!

〔信濃毎日新聞平成30年5月10日 中南信版〕

松本県ヶ丘高校(松本市)が、1年生約320人を対象にした進路講義をこのほど開いた。本年度、英語科を改編して探学科を設置したのを機に内容を充実させようと計画し、卒業生らさまざまな分野で活躍する卒業生16人(別表参照)に広報部注。以下(同)を講師に招き、進路を考える際の助言や仕事の醍醐味を聞いた。



▼生徒たちはそれぞれ興味のある講義を二つ選び、1時間ずつ聞いた。米ニューヨーク

在住の現代音楽ピアニスト本田瞳美さん(高52回卒。同窓会報第31号に寄稿)の講義はインターネットで現地とつないで開催。2回で計37人が参加した。▼本田さんは同校英語科を卒業後、米国で学び、ピアノの演奏活動や指導をしている。視野を広げるためには日本語だけでなく、他言語で発信される情報に触れる必要性を指摘。「英語に加え、できればもう1か国語を話せるようになった方が長い目で見て選択肢が広がる」と語った。▼生徒たちは留学への備えや現地の政治情勢などを次々と質問。本田さんは「人と比べる感覚を捨て、自分が伸びていくための情報を集める積み重ねが自信につながる。大きな夢を持って」と後輩の背中を押した。(以下略)

※写真は学校提供の本田さんの講義の様子。()内は広報部が追加

第一回進路支援講義支援 講師		
氏名	所属	
1 青木 啓成	相澤病院スポーツ障害予防治療センター所長	
2 赤司龍之祐	RKB毎日放送株式会社プロデューサー	
3 赤沼 典昌	マーベルキャリアコンサルティング/代表	
4 赤羽 響	中央大学4年生	
5 浅田 学	㈱フィックス社長	松本青年会議所理事長
6 伊藤 梨花	岩波書店	
7 伊藤 誠治	ニュージェック国際事業本部	
8 片瀬 拓弥	清泉女学院短期大学	准教授
9 北原 哲郎	応用地質株式会社	
10 小林 あや	松本市議会	
11 小林 靖奈	新潟薬科大学薬学部	教授
12 征矢 芳友	弁護士	
13 本田 瞳美	現代音楽ピアニスト	
14 水谷 和世	ヘアデザインスリープ	
15 宮坂 義男	松南病院院長	
16 望月みちる	明治学院大学3月卒業	現 東京コンサルティング会社